

# YOMITAN

## ROUTE



残波岬

### 読谷村の伝統工芸と特産



豊かな生活・活力ある地域・優しい環境をめざして



# 読谷道路

沖縄西海岸道路

内閣府・沖縄総合事務局  
南部国道事務所

〒900-0001 那覇市港町2-8-14  
tel.098-861-2336



地区名	読谷・嘉手納地区	北谷地区	宜野湾地区	浦添地区	那覇地区	小禄地区	豊見城・糸満地区
起終点	読谷村	嘉手納町・北谷町・宜野湾市・浦添市・那覇市・豊見城村				糸満市	
延長	約50km						
道路の区分	1種3級					4種1級	
設計速度	80km/h					60km/h	
調査・事業化経緯等	嘉手納バイパス L=3.2km S62事業化 読谷道路 L=6.0km H13事業化	調査中	調査中	調査中	那覇西道路 L=3.0km H4事業化	調査中	糸満道路 L=2.8km H2事業化 豊見城道路 L=4.0km H元事業化

沖縄西海岸道路の役割

交通渋滞の緩和

渋滞が少なくなればイライラも解消。気持ちにゆとりを持って運転ができます。さらに走りやすさは、事故を少なくして交通の安全につながります。

走行時間の短縮

西海岸道路が完成すると、時間距離(一定の距離を行くのに要する時間)はこれまでの半分に。目的地が近づき、各地域がこんなに身近になります。

那覇空港～牧港	41分→9分⇒32分短縮
牧港～宜野湾	4分→2分⇒2分短縮
宜野湾～北谷	10分→7分⇒3分短縮
北谷～読谷	20分→9分⇒11分短縮
那覇空港～読谷	75分→27分⇒48分短縮

産業の発展

スピーディーで効率の良い輸送は、人件費や燃料費等を大幅に削減します。さらに空港や港へのアクセスがスムーズになるので、県内産業のさらなる発展が望めます。

地域の活性化

交通混雑が少なくなり、時間距離が短縮されると、地域間の人や物の交流が活発になり、各地域が活性化されていきます。

生活環境の改善

毎日の買物やレジャーの行動範囲が拡大。便利で楽しい生活がグーンと広がります。また交通渋滞がなくなり、CO<sub>2</sub>排出の低減で地球環境にもやさしくなります。

地域開発プロジェクトの支援

今、西海岸沿いの各地で多くの「地域開発プロジェクト」が計画されています。西海岸道路はそれらのプロジェクトをつないで、よりスムーズに人や物を移動させることとなります。

年間、600億円の節約



渋滞による時間のロスがなくなることで、時間、燃料費などのムダが減り、なんと、1年間で600億円もの金額(時間便益)が節約できることとなります。

それは未来を担う道路

読谷から糸満まで西海岸地域にもう一本の幹線道路を

利用する車の絶対量が増え続け、慢性的な渋滞をきたしている本島の大動脈・国道58号、331号の混雑を緩和するために、沖縄本島の西海岸地域に沿って、新しくもう一本の幹線道路をつくります。この新しい道ができると、輸送力の大幅な増加が実現し、車の流れがスムーズになると共に、隣接する他の道路にも混雑緩和の効果が及びます。また、西海岸地域で計画されている各種の開発プロジェクトを支援し、それらをつなぐことで西海岸地域全体の活性化がはかれます。産業に、生活に、西海岸道路の担う役割は大きいのです。





# 読谷道路

【沖縄西海岸道路】

読谷道路は、沖縄西海岸道路の一翼として沖縄の発展に大きく役立ちます。読谷道路は、読谷村から糸満市までの約50kmをむすぶ西海岸道路の一部を構成する道路であり、読谷村親志から同村古堅に至る延長約6.0kmの道路です。読谷道路が完成すると、読谷村～嘉手納町間の慢性的な交通混雑を緩和したり、読谷リゾート地区へのアクセス向上、基地返還跡地転用計画を支援する道路として、沖縄の発展に大きく貢献することになります。



残波岬と沖縄残波岬ロイヤルホテル



ホテル日航アリビラ



琉球王国の歴史公園「むら咲きむら」



マンタハウス



やちむんの里

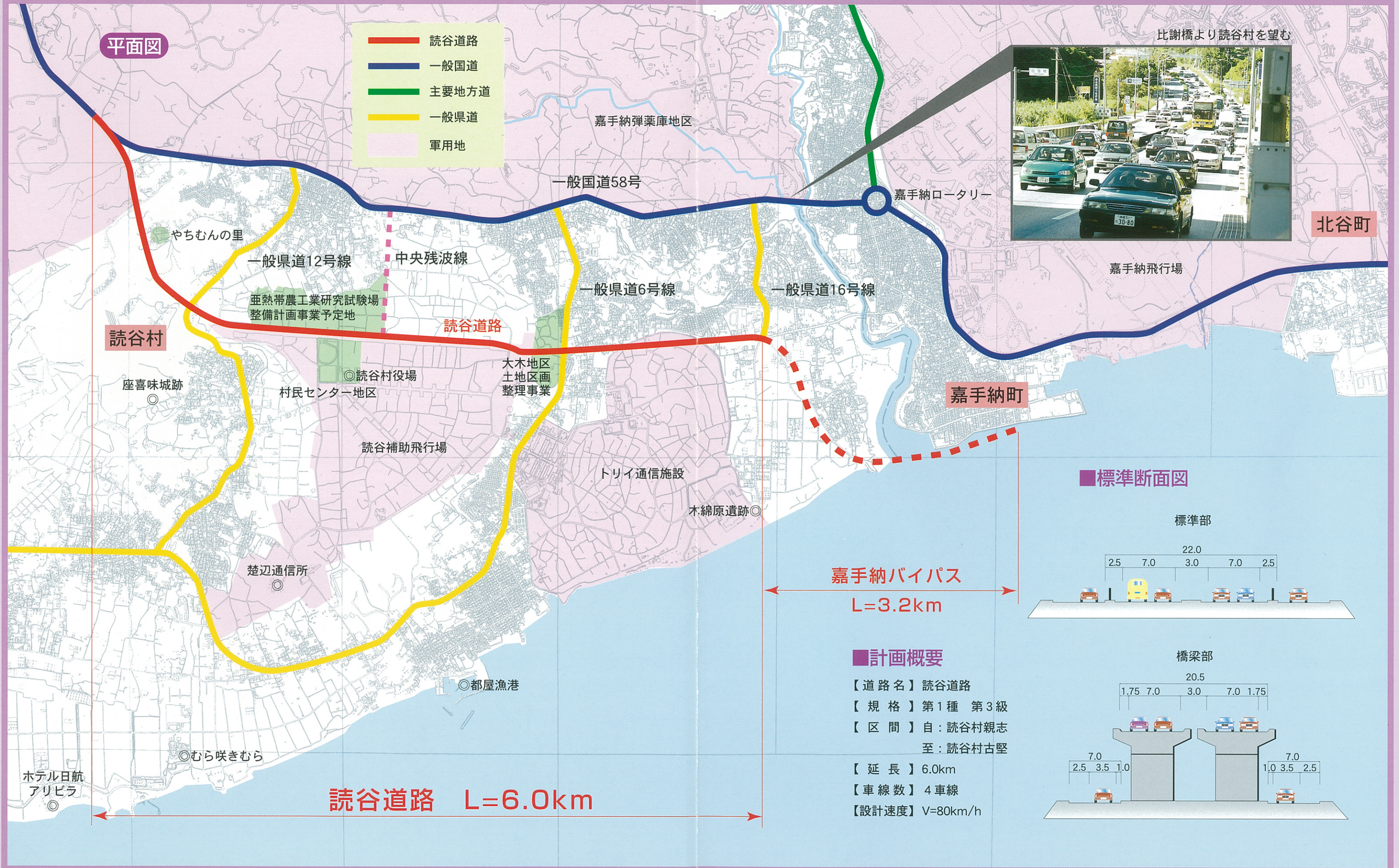


座喜味城跡(世界遺産)



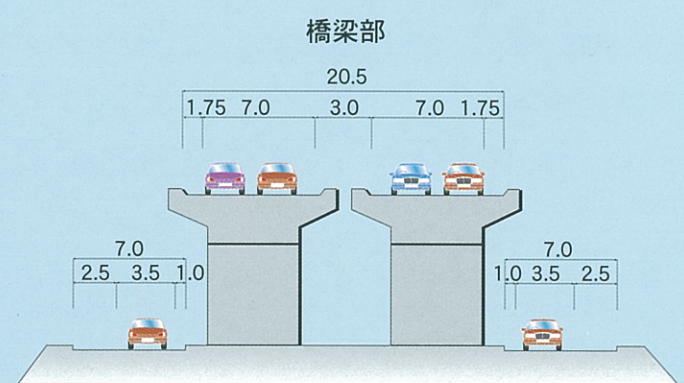
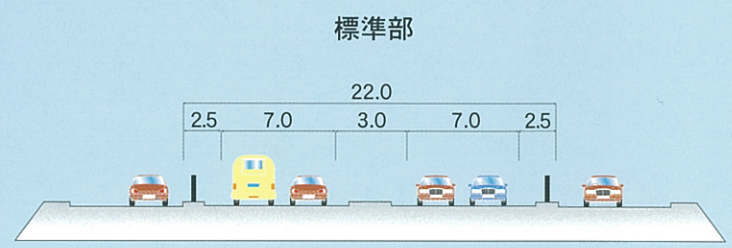
村民センター(平和の森球場)

# 読谷道路の計画路線概要



北谷町

## 標準断面図



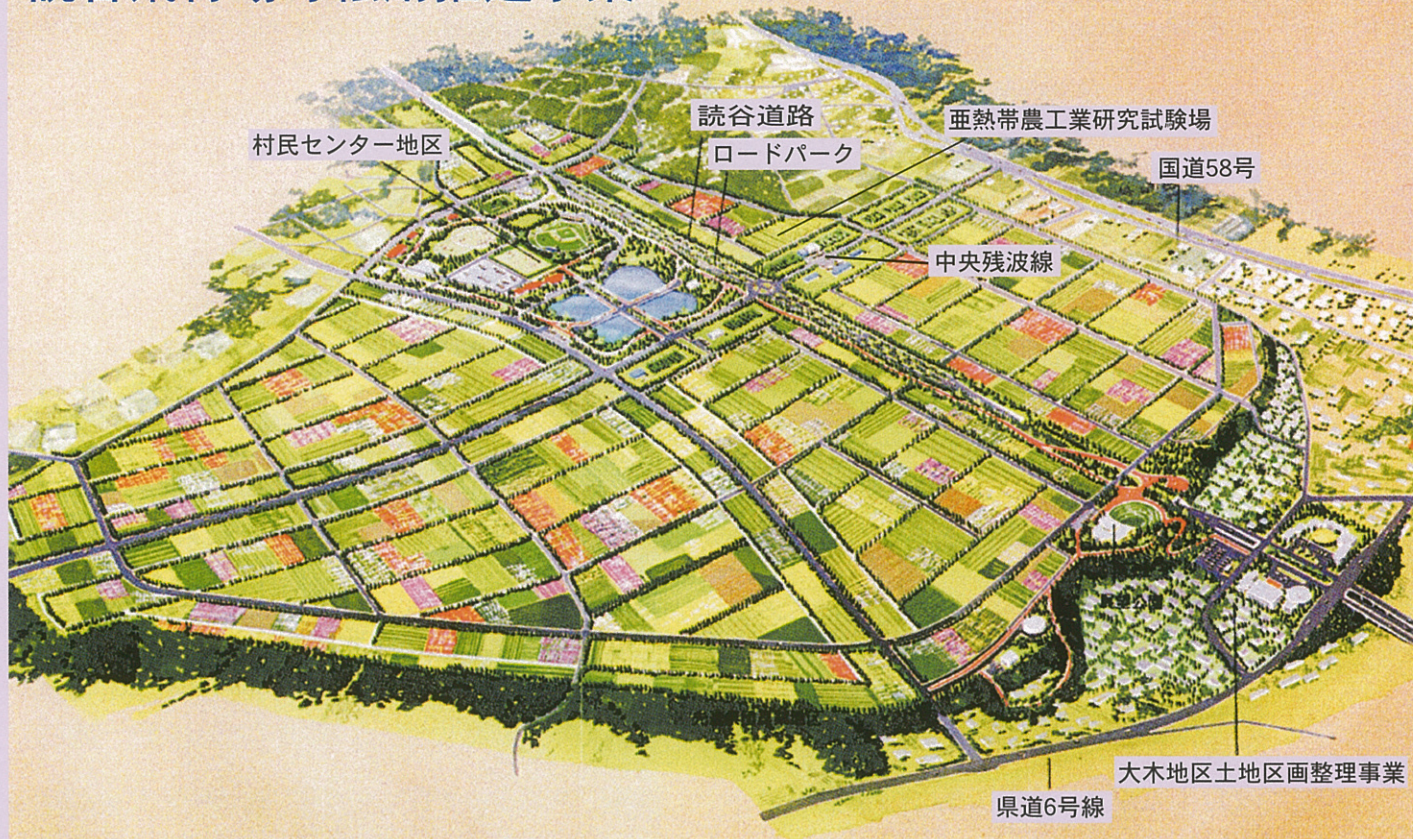
## 計画概要

- 【道路名】読谷道路
- 【規格】第1種 第3級
- 【区間】自：読谷村親志  
至：読谷村古堅
- 【延長】6.0km
- 【車線数】4車線
- 【設計速度】V=80km/h

嘉手納バイパス  
L=3.2km

読谷道路 L=6.0km

# 読谷飛行場等転用推進事業



村民センター地区

## 明るい未来の 「人づくり・村づくり」



読谷村役場庁舎



読谷村文化センター

## 地域開発プロジェクトの概要

### □読谷飛行場等転用推進事業(279ha)

SACO(沖縄基地に関する日米合同委員会)の返還合意に基づき読谷飛行場の跡地利用の転用推進事業を行います。

### □大木地区土地区画整理事業(22.8ha)

読谷補助飛行場返還地区の民有地区域を土地区画整理事業により、都市基盤整備を行い利用を促進します。

### □村民センター整備計画(29ha)

読谷補助飛行場返還地区の村民センターを整備し、村民の新たな憩いの場として利用を促進します。